

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社サクセスアカデミー

にじいろ保育園川上町

横浜市戸塚区川上町 88-1

【評価対象種別】

保育所

【使用評価項目】

横浜市版

●実施概要	P1
●総合評価	P2 ~ P3
●分類別評価結果	P4 ~P14
●利用者家族アンケート結果	P15~P23
●利用者本人調査結果	P24~P25
●事業者コメント	P26

2016年1月

評価実施機関：合同会社 評価市民・ネクスト



【評価実施概要】

事業所名	株式会社サクセスアカデミー にじいろ保育園川上町
事業所への報告書提出日	2016年2月18日 (評価に要した期間) 9か月
評価機関	合同会社 評価市民・ネクスト

●評価方法

1、自己評価 実施期間 ~2015年10月30日	<ul style="list-style-type: none"> ① 全職員が、自己評価票の記入を行った。 ② 第三者評価担当者が、各個人が記入したものを分担してまとめた。 ③ 園長・主任が1つにまとめ、職員会議で確認した。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2015年9月28日~10月13日	<ul style="list-style-type: none"> ① 全園児の保護者(75世帯)に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日 第1日:2015年11月25日 第2日:2015年11月27日	<p>[第1日]</p> <p>午前:保育観察。 昼食:園児と一緒に食べながら保育観察。 午後:書類調査。園長・主任、運営法人スーパーバイザーにヒアリング。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:朝は登園の様子を観察。その後各クラスで保育観察。 昼食:園児と一緒に食べながら保育観察。 午後:各クラス担任保育士6名、新任保育士3名、 非常勤職員1名、乳児リーダー1名、看護師1名、 栄養士1名、の順にヒアリング。 その後、園長・主任、運営法人スーパーバイザーにヒアリング。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
4、利用者本人調査 実施日 第1日:2015年11月25日 第2日:2015年11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ① 観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

総合評価

【施設の概要】

「にじいろ保育園川上町」は、JR線「東戸塚」駅西口のロータリーから1～2分の5階建ての商業ビルの2階にあります。園庭はありませんが、屋上に園が使用できるスペースがあり、プランターで野菜や草花を育てたり、夏にはプール遊びをしたりしています。ビルのほかの階には、内科や歯科のクリニック、企業の事務所、美容室、児童福祉施設等が入っています。周辺は大通りに面した商業地域ですが、徒歩圏にいくつも公園があり、自然とのふれあいでできる環境です。

0歳から5歳までの定員90名で2008年4月に開設された認可保育所です。開園時間は月曜日～金曜日午前7時～午後8時、土曜日は午前7時～午後6時です。（延長保育時間を含みます。）

運営法人は株式会社サクセスアカデミーです。保育園・学童クラブ・児童館の運営、大学・病院・企業内の保育受託サービス、保育施設運営のコンサルティングサービス等、首都圏を中心に幅広く展開しています。

保育理念は「のびやかに育て だいちの芽」、保育目標は「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。

●特長・優れている点

【1】子どもたちは全職員に見守られ、仲良く活発に過ごしています

○園はビルの2階に位置し、園内は仕切りはあるものの保育室間の連絡がしやすく、広々と開放的な環境となっています。全員が同じフロアで過ごしているので、小規模園ではありませんが、職員も子どもたちもよく知り合い、言葉をかけあい過ごしています。職員は子どもたち全員を知っていますし、トイレの帰りに0歳児の部屋をのぞく幼児クラス（園では0～2歳児を乳児クラス、3～5歳児を幼児クラスと呼んでいます。以下同じ）の子どもたちは、小さな弟妹を見るような温かい表情をしています。給食室と保育室も窓越しに様子を見ることができます。

○異年齢保育の場が多くあります。朝、登園した子どもたちは、0～2歳児と3～5歳児に分かれて集まりますが、異年齢で一緒に遊んだり、思い思いの遊びをしたりしています。クラスに分かれて朝の会をしてから、またこのグループで集まり、リトミックやクッキングなどをする事も多いです。調査当日もリトミックや12月のお楽しみ会の練習をしていましたが、年齢別に演技をすると年下の子どもは年上の子どもの真似をしますし、年上の子どもはお手本になることに自信を持っている様子です。公園遊びなどに出かけるときは、いろいろなパターンのクラスの組み合わせで交流しています。5歳児は、年明けに午睡の時間がなくなると1、2歳児のお世話をする計画がありますが、着替えや寝かしつけを手伝い、ますます年長の自覚を持つと思われます。

○子どもたちは体力がついています。園庭はありませんが、近くに乳児から行ける公園が複数あり、天気の良い日はほとんど出かけて遊んでいます。保育室でもリトミックやマット、跳び箱、トランポリン等の器械運動をすることができ、指導計画にも運動遊びがよく取り入れられています。また、3～5歳児には外部講師による月2回の体操教室もあり、子どもたちも喜んで参加しています。昨年度は近隣の保育園との交流ドッジボール大会で優勝しました。

【2】職員はそれぞれの役割を遂行し、連携して保育をしています

○園の職員は、現在年齢構成もバランスよくなってきています。また、園長・主任のほかに乳児クラス・幼児クラスのリーダーは新人養成等のためクラスに入ることがありますが、原則フリーとしています。この指導クラスの職員がよく機能して、職員の相談に乗ったり手助けをしたりして、安定した職員体制となっています。クラスを担当するそれぞれ複数の保育士も、例えばおやつの前、一人は絵本の読み聞かせ、一人はおやつの準備、一人はトイレの世話というように、スムーズに連携してクラス運営をしています。合同保育のときも、クラスを越えて分担して保育をしています。その中で子どもたちの興味・関心を把握し、教材やおもちゃも協力して手作りしています。保育室に手作りの可愛いポストがあり、今お手紙ごっこが流行っているとのことでした。

○栄養士は、運営法人の献立表を基に、子どもたちの喫食状況も見て園独自の工夫も取り入れています。できる限り子どもたちと給食を共にして様子を見て、子どもや保育士の声を聞いています。子どもたちも「給食の先生」との食事を楽しみにしています。調理員とともに調理法の工夫もして、現在は残食がほとんどありません。毎月給食だよりと献立表を家庭に配布し、人気のメニューはレシピを作り、玄関に置いて保護者が自由に持って行かれるようにしています。幼児は毎月クッキングの時間があり、栄養士は保育士と協力し、クッキー等のお菓子や味噌作りなどもしています。うどんも粉をこねるところから始めて、子どもたちは大喜びでした。

○看護師は朝全クラスを巡回して、子どもたちの体調を確認しています。保健だよりを発行し、季節の健康に関する話題やかかりやすい病気等の特集しています。保育士や保護者の健康相談にも乗っています。また、救急法や嘔吐処理等の研修の計画を立て、外部講師を依頼したり自ら講師になったりしています。さらに運営法人の看護師と連携して、現在のマニュアルにアデノウイルス感染症を加えるなど、新しいマニュアル作りにも取り組んでいます。

●さらなる取り組みが期待される点

園運営に独自の視点を

○前回の第三者評価調査時（2011年）から4年を経過しましたが、交通の至便性から保護者は近隣住民だけでなく出勤途中に子どもを預ける人も多いことや、入居ビル付近の様子もあまり変わっていません。地域支援について運営法人共通の絵本の貸し出しなどのメニューはありますが、地域の参加者はあまり増えていないようです。今年度地区の幼保小連携事業に参加しているので、さらに地域のニーズで足りないことは何か、この地区で地域支援をするにはどうしたらよいかを探り、保育園の持つ機能や職員の専門性を生かした支援をすることが期待されます。

○運営法人のマニュアル等がしっかりしていて、「園の自己評価」も運営法人の書式により行われています。一方、職員も日常の指導計画の振り返りを綿密にして次の計画を立てています。そこで運営法人の書式に園の独自性を加味して全職員で取り組むと、「園の自己評価」が職員にさらに身近なものになるのではないかと期待されます。

分類別評価結果



「ひょう太」 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

横浜市の評価基準に基づいて、各評価分類は1～6つの評価項目によって構成され、評価項目の評価結果によって、評価分類の評価結果が決まります。

評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 保育の理念は「のびやかに育てだいちの芽」、保育方針は「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛（信頼 安定 共感）」としています。理念・基本方針を基に保育目標に「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」を掲げ、利用者本人を尊重したものと なっています。理念や基本方針は、全職員が運営法人の新人研修で学んでいます。いつでも目にふれるように玄関、事務室、保育室等に掲げられ、業務マニュアルにも明記され、職員会議でも確認し、実践しています。 • 保育課程は保育理念・保育方針に沿って、子どもの最善の利益を第一にして作成され、玄関の棚に置き保護者がいつでも見ることができます。 • 子どもの態度・表情から気持ちや意向をくみ取り、言語化できる子どもからは、意見・要望を聞き、指導計画に反映させ、子どもが主体的に活動できるようにしています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 入園説明会前に児童票を記入してもらい、生育歴・家庭状況・アレルギーの有無などの健康状況を把握しています。入園説明会の際、保護者に対して個別面接をして、当日子どもの観察もしています。 • 0、1歳児の新入園児には個別の主担当を決め、愛着関係が築けるようにしています。ならし保育も保護者と相談しながら無理なく実施しています。 • 年間指導計画は4期に分け各クラスで作成し、さらに月案、週案を作成しています。それぞれの期間での子どもの様子を振り返り、次期の計画に反映させています。

I-3 快適な施設環境の確保



- | | |
|---|--|
| <p>(1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。</p> <p>(2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p> <p>(3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・室内は毎日清掃をして、チェックリストで点検をしています。大きな窓から陽光を十分取り入れ、換気扇が作動し、空気清浄機を完備しています。職員も温湿度、通風、ふさわしい照明などに配慮しています。・沐浴設備や温水シャワーの設備があり、清潔に保たれています。・保育室内は手作りの仕切りや敷物でコーナーを作り、小集団保育ができるようにしています。また、保育室の仕切りを外して広くし、リトミックや体操教室を行うなど用途に合わせて工夫しています。 |
|---|--|

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- | | |
|---|--|
| <p>(1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・3歳未満児と3歳以上の配慮を要する子どもについては、毎月子どもに応じた個別指導計画を作成しています。・入園時に子ども一人一人のファイルを作成し、卒園まで毎年、決められた書式に書き込み、年度末に次期担任に引き継いでいます。卒園時には保育所児童保育要録を小学校に送っています。 |
|---|--|

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み




- | | |
|--|--|
| <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・特に配慮を要する子どもを受け入れる姿勢があり、個別のケースについて職員会議で話し合い、必要な情報を共有しています。研修に積極的に参加し、職員会議で報告しています。・園内はバリアフリーでユニバーサルデザインのトイレも設置されています。ビルの玄関からはエレベーターを使用しても園の入口までは段差がありますが、車いす利用者等が入園する場合は個別の対応が可能です。・「虐待対応マニュアル」があり、全職員に周知されています。虐待が疑わしい場合の連絡先も決まっていますが、そうした事態にならないように予防に努めています。・アレルギー疾患のある子どもは、かかりつけ医の診断書をもらい、適切に対応しています。除去食を提供する場合は、誤食がないように食器やトレイを分け記名して、調理室でも保育室でもチェックをしています。・外国籍の子どもには文化や宗教の違いを尊重し、その子どもに合った支援をし、他の子どもにも理解されるようにしています。 |
|--|--|

I-6 苦情解決体制



- | | |
|--|--|
| <p>(1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・要望・苦情受付担当者として主任、解決責任者として園長が決まっています。「入園のしおり」に記載され、保護者に周知しています。玄関に意見箱として「スマイルボックス」を設置しています。また、日常から保護者の声を努めて聞くようにしています。・要望・苦情を受け、第三者委員を交えて必要に応じて対応する仕組みができています。また、外部の複数の相談窓口も紹介しています。 |
|--|--|

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅱ－１ 保育内容〔遊び〕</p> <p>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ちて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室内のおもちゃや絵本は、子どもの背丈に合い取り出しやすい高さの棚にかご等で分類して収納されています。かごには中に入っているものの名前を見やすく書いてあったり、中のものが見える入れ物にしたりするなど、子どもが自分で取り出しやすく片付けもしやすい収納になっています。 ・クッキングやリトミックの一斉活動においては、友達と一緒に物を作ったり、運動したりする楽しさを感じるとともに、約束や順番を守る・友達と仲良くするなどの社会性も学んでいます。 ・園庭のない保育所ですが、建物の屋上にプランターを置きジャガイモ・ニンジン・キュウリ・ナス・シソなどの栽培をしています。植える野菜の種類は子どもたちと話し合って決め、種や苗を地元の店に買いに行くことから始めています。4・5歳児を中心に水やりなどの世話をし、野菜の成長記録をつけ、植え付けから収穫までの過程を楽しみながら経験しています。収穫した野菜は「おもてなし会」（保護者参加の行事）で子どもたちが作るカレーライスのもので一部になります。また、夏の朝顔や冬の球根草花なども植えています。 ・月に2回ほどの頻度でリトミックの時間を設けています。0歳児から5歳児までの各クラスで年齢に合ったリズムや動きを通して自分を表現する遊びをしています。また、4・5歳児を中心に（3歳児は秋ごろから参加）月に2回、外部専門講師による造形教室と体操教室を設けています。 ・子ども同士のけんかについては、年齢に応じた対応でケガにつながらないように見守る姿勢でいます。言葉が未発達な年齢では双方の気持ちを代弁してあげ、徐々に子どもたちで解決ができるような成長過程をめざしています。 ・異年齢合同保育の機会を多く持っています。リトミック・造形・クッキングの時間はおおむね3・4・5歳児が合同で活動しています。また、5歳児は1月ごろから、1・2歳児の着替え・寝かしつけ・布団の片付けなどの手伝いをしています。園内は広い廊下を挟んで保育室があり、トイレへの動線は同一であるため、異年齢の子どもがかかわり合う機会は日常的にあります。 ・天気の良い日は毎日散歩に出かけ、散歩先でのかけっこ・縄跳び・ドッジボールなどをして外遊びを楽しんでいます。散歩の行き先や距離は年齢や発達に応じて選択しています。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- (7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。



- 子どもは苦手な給食メニューについては、食べる前に量を減らしてもらっています。職員は無理強いすることなく一口でも食べてみるように勧め、完食できた喜びを実感できるように言葉かけをしています。
- 乳児の授乳は、必ず抱っこして壁際などの落ち着いて座れる場所を選んで子どもの顔を見ながら与えています。離乳食を食べさせるときには、保育士は子どもとしっかり向き合い子どもの食べるペースをつかんで「もぐもぐ」や「かみかみ」の声かけを多く行うだけでなく保育士の顔の表情や口の動きをよく見せながら食べる意欲を引き出すように援助しています。
- 給食の献立は、運営法人で作成したものに園独自のアレンジを加えて作成しています。季節の食材を使用し、行事食も取り入れるなど季節感を感じることでできる献立作りをしています。節分の恵方巻・ひな祭りのちらし寿司・七夕のそうめん等の季節の行事食のほか、運動会前の応援バーガーや、クリスマスとお別れ会のバイキング形式の給食など、さまざまな工夫を凝らしています。
- 毎月開催する給食会議は栄養士・調理師・園長・主任・各クラス代表保育士で構成され、各クラスの詳しい喫食状況報告の場です。子どもに好評の献立、苦手な食材などが具体的に把握でき、次回の献立作成や調理の仕方などに反映されます。
- 毎日、その日の給食サンプルを玄関ホールのサンプルケースに展示して迎える保護者に見てもらえるようにしています。また、人気メニューのレシピも置き、希望者が自由に持ち帰れるようにしています。
- 午睡時には、子どもの様子がわかる程度の明るさを確保してカーテンを引き、入眠しやすい環境を整えています。乳児については、保育士が子どもの傍らに座って優しく体をトントンしたり、抱っこやおんぶをしたりするなど、一人一人の子どもに合った、寝付きやすい対応をしています。
- 乳幼児突然死症候群を予防する対策として、0歳児クラスは5分ごと、1歳児クラスは10分ごとの呼吸チェックを行いチェック表に記録しています。
- トイレトレーニングは保護者と密に連携し、子どもの排泄の間隔を見極めて開始しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3) 感染症等への対応に関するマニ

- 子どもの健康管理に関するマニュアルは、「保健衛生（看護師の業務）」に含まれています。このマニュアルに沿って毎日看護師がクラスを回り、視診による健康チェックをしています。
- 子どもの既往症についての保護者からの情報は、各子どもの児童票綴りに入園時からの経過記録が整備されています。また子どもの病気に関す

<p>マニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<p>る保育中の注意事項は保護者と確認し合い、毎日のミーティングで全職員に周知を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年2回の内科健診と年1回の歯科健診・ぎょう虫検査、毎月の身体測定を実施し、一人一人の記録をファイリングしています。健診結果に心配な要素があった場合は、医師の診断を元に看護師から個別に説明しています。 • 感染症への対応に関するマニュアルには、感染症の基礎知識および対応が「保育園での感染症対策」として明記されています。また、保護者には、入園時に配布する重要事項説明書に登園停止基準を含めた感染症に関する注意事項を明記しています。 • 保育中の子どもに発熱や嘔吐など感染症が疑われる症状が出た場合には、速やかに保護者に連絡し、事務室で休ませ保護者の迎えを待つようにしています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理] </p>	
<p>(4) 衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 衛生管理に関するマニュアルが「保健衛生（看護師の業務）」内にあります。 • 運営法人では2か月ごとに法人全体の看護師による「にしいろ看護師会会議」を開催しています。内容は感染症対策、ケガや事故の注意事項などについての討議を行っています。看護師は内容を園に持ち帰り、特に季節的な感染症や新種の感染症については、職員会議や昼ミーティングの場で職員に伝えるとともに、マニュアルの加筆や見直しを行っています。 • 年度はじめには、職員会議でマニュアルの読み合わせをしています。また、嘔吐処理などの研修はDVDを見てから実習をする手順で行っています。 • 園内はマニュアルに基づいて清掃が行われ、清潔です。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理] </p>	
<p>(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6) 事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 安全管理マニュアルがあります。マニュアルの内容は、「保育園内外で注意すべき場所及び配慮すべき事項」「園児の年齢別の配慮」「SIDS 予防対策」など、具体的かつ丁寧に作成し全職員に周知しています。 • 毎月、地震・火災・不審者侵入を想定した避難訓練や園児の引き渡し訓練などを実施しています。「避難訓練実施記録票」には実施内容・感想・反省などの項目があり、緊急時に的確に対応できるように備えています。また、消防署員に来てもらい、通報訓練を行ったり、避難場所の確認をしたりするなどの取り組みもしています。 • 子どものケガについては軽いものであっても必ず保護者に口頭で報告しています。事故やケガの状況は「アクシデントレポート」や「事故報告書（医療機関を受診した場合）」に記録し、再発防止につなげています。また、ヒヤリハットについても「ヒヤリハット報告書」があり、発生状

況・今後の対策・園長の所感を記録しています。「アクシデントレポート」「事故報告書」「ヒヤリハット報告書」ともに全職員に回覧しています。

- 職員個人の振り返りとして 32 項目の「セルフチェック」を毎週実施しています。チェック内容は「子どもの行動予測をしているか」「子どもの情緒・体調の把握を行い保育の配慮を行っているか」などの具体的な質問で構成され、日ごろより事故予防の意識維持に取り組んでいます。
- 外部からの侵入に対する対応策として、園の玄関はオートロック形式にしています。送迎の保護者には事務室から顔確認をして開錠するシステムです。また、民間警備会社と契約し、緊急時の通報体制があります。散歩時の緊急事態にも対応する体制です。

Ⅱ-3 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- 子どもの人権尊重については、園の保育の柱となる「保育ガイド」を元に園内研修を行っています。「保育ガイド」には、「人権」の項目があり、「子どもの人権の尊重」「人権を配慮した保育」などを具体的に記載しています。「保育ガイド」は事務室に常備しているほか、この保育ガイドの抜粋版を全職員に配布しています。
- 子どもが 1 人になりたいときには玄関ホールを使うほか、子どもが隠れる程度の手作りの衝立が数多く作っており、子どものクールダウンのほか、保育のいろいろな場面で有効に機能しています。
- 運営法人で作成した「保育ガイド」に「個人情報の管理」の項目があり、全職員が守秘義務および個人情報の取り扱いに関して十分に周知しています。職員はこの規定に則り、「機密保持誓約書」を園に提出しています。また、実習生やボランティアの活動前には、オリエンテーションで守秘義務についての説明を行っています。また、子どもの肖像権にかかわる写真の取り扱いについては入園時に保護者に説明し、個人情報承諾書ももらっています。さらにパンフレットやポスターなどへの使用については、その都度了解をとっています。
- 性差による固定観念で保育を行わないように、職員会議で振り返りや話し合いを行っています。

【さらに望まれる点】

- 保育活動において、子どもが待たされる場面を散見します。特にクラス単位でトイレを使用する際、園内のトイレが一か所という物理的なことにも起因しますが、子どもから「まだ？」の声があったり、おむつやパンツを早くから脱いで廊下で待たせていたりする状況があります。何らかの工夫により改善の余地があると思われれますので、検討が望まれます。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



<p>(1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者に対して、入園時の保護者説明会や年 2 回の懇談会の場で園の基本方針を説明しています。また毎月発行する園だより・クラスだより・給食だより・保健だよりなどでは、部門ごとの方針を伝えています。 • 子どもの送迎時には保護者と口頭で情報交換するほか、連絡帳も用いています。連絡帳は 0・1・2 歳児クラスでは毎日、3 歳児クラス以上では必要なときに自由に書く形式です。 • 保護者懇談会を年 2 回、個別面談を年 1 回実施しています。個別面談の日時は保護者の希望に沿えるよう配慮しています。 • 保護者からの相談には、事務室や空いている保育室を使用し、他人の目を気にせず落ち着いた状態で相談できるように配慮しています。月に 1 回、臨床心理士による巡回相談日を設けており、相談者の希望があれば紹介することも可能です。 • 毎月、「園だより」「クラスだより」「保健だより」「給食だより」を発行しています。 • 年 2 回の保護者懇談会は年度はじめと年度終わりに開催し、年度はじめには各クラスの一年間の保育内容や、成長による子どもの特徴などを示し、年度終わりにはクラス全体の成長の様子を示し、年間の園生活を分かりやすく説明しています。 • 日常の保育の様子や行事の様子は写真に撮り、外部の専門業者によりネット上に掲載をしています。保護者はパスワードを用いていつでも閲覧でき、希望があれば写真の購入もできます。また運営法人の「にじいろブログ」への掲載も行っています。 • 保育参観は、年に 1 回、参観週間を設け、保護者の希望日を調整して受け入れています。また、5 歳児については「お誕生会」に保護者を招待し保育参加してもらい、給食の試食を提供しています。
--	---

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 園の見学希望者は多く、100 件以上の見学者が来訪しています。そのときに育児に対しての支援ニーズや保護者の声も丁寧に聞くようにしています。 • 地域主催の秋まつりのイベントに参加・協力しており、育児支援のコーナーや食育のコーナーを設けて子育ての悩み、専門的な相談に応じています。

・ボランティアによる人形劇のイベントの催しや、「にじいろ文庫」という絵本の貸し出しコーナーを玄関前ホールに設置し、在園児以外の参加者も募っています。

【課題・望まれる点】

・育児支援サービス（絵本の貸し出しや育児相談など）の情報については、さらにアピール方法の再検討などが期待されます。
 ・地域向けの講習・研修会を開催するまでに至ってはいませんが、食育に関する講習会の開催を検討しています。今後の発展が期待されます。

Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能




(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。
 (2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

・随時で園長および主任保育士による育児相談、看護師による発達相談の等の受け入れを行っており、チラシを作成し、来訪した入園希望者等に配布しています。
 ・連携できる機関のリストは整備され、園長が窓口となり必要に応じて医療機関・療育機関などと連携する体制は整っています。

【さらに望まれる点】

・外部からの相談利用者数が少ないため、今後は周知方法を含めて検討することが期待されます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類		評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）	
Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ		
(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	<p>・夏まつりや運動会など一般の方が参加できるさまざまなイベントでは、系列の園も招待し参加を呼びかけています。</p> <p>・川上北小学校と連携しており、ランドセルを背負わせてもらったり綿花の栽培をしたり学校になじめるような積極的な取り組みも行われています。</p> <p>・ドッジボール大会が開催されています。ドッジボールのみならずさまざまな形で集団遊びを楽しんでいます。5歳児は毎回参加しており、昨年はドッジボールで優勝をした実績があります。4歳児も次の年に出ることを楽しみにしており、毎回参加し力強く応援しています。</p> <p>・おたのしみ会で作るカレーの材料を、グループごとに担当食材を決めて子どもたちが地域の商店街に買い物に行き、意識的に地域商店会との交流を図っています。</p>	

Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供



<p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市子ども青年局や戸塚区のホームページにも情報掲載をしています。見学時に配布する三つ折りパンフレットに園の詳細情報を記載しており、実際に保育にあっている職員の情報は玄関前ホールに、一目でわかるような“写真の付きの保育士紹介”を掲載しています。 見学についての情報は、行政のホームページに掲載するほか、電話での問い合わせ時に個別案内をしています。 見学に対応できる時間帯は決まっていますが、希望により乳児の食事時間帯や土曜日の受け入れも行っており柔軟な対応をしています。
---	---

Ⅳ-3 ボランティア・実習の受け入れ



<p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアや保育実習生の受け入れは主任が窓口となり、積極的な受け入れ態勢があり、ボランティア、実習生受け入れマニュアルが完備されています。マニュアルには受け入れの方針、厳守すべき事柄等が記述されています。 実習プログラムは実習者と双方で相談し、部分実習・一日実習も取り入れ、実習者の目的や希望に沿った内容の実習になるよう配慮しています。 お話し会や人形劇では、子どもの心をつかむ演技を保育の参考にしています。
--	---

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<h4>V-1 職員の人材育成</h4> <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<div style="text-align: right;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> 運営法人は保育所運営に十分な人材構成であるか、園と連絡を取り合っ てチェックし、責任を持って必要な人材の補充をしています。人材育成制度として、職員の新人研修、レベルアップ研修、フォローアップ研修、主任研修、園長研修、専門研修等階層別の人材育成計画が策定されています。 研修担当者は主任で、園長と相談し研修計画を作成し、研修参加を進めています。職員会議で研修報告は丁寧に行われています。 非常勤職員の指導者は主任ですが、クラス担任も連絡を密にしてコミュニケーションを図っています。

V-2 職員の技術の向上



- (1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。
- (2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。
- (3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。

- 職員の自己評価の様式として運営法人が作成した「チャレンジ共有シート」があり、年度当初に記入したものを半期ごとに振り返り、目標や課題について見直しています。
- チャレンジ共有シートでは、期末に園長と共に達成度を評価する仕組みとなっています。各指導計画も必ず自己評価欄を記入し、次期の計画に反映させています。
- チャレンジ共有シート、指導計画の振り返りなどの自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価は、理念、方針、保育課程に沿って、運営法人の書式により行われています。

【さらに望まれる点】

- 保育士等の自己評価は話し合いを重ね丁寧にしています。保育所の自己評価も運営法人の所定の書式に園の独自性も加味して、全職員で取り組むことが期待されます。

V-3 職員のモチベーション維持



- (1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

- 運営法人として経験年数や習熟度、職階に応じて必要とする能力・技術を定めていて、それに応じた研修計画・人材育成計画が策定されています。
- 職員にできるだけ権限を委譲し、やりがいや満足度を高めるようにしています。職員会議で意見を聞き、業務改善につながることもあります。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
VI-1 経営における社会的責任	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 全職員に配付されている運営法人の「保育ガイド」に、職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され、研修でも周知されています。 • 「環境問題への取り組み」は、明文化して事業計画にも明記しています。ペーパータオルを半分にしたり、リサイクルした容器でおもちゃを作ったり、省エネに取り組んだり、子どもたちにも物を大切にすることを指導しています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- | | |
|--|---|
| <p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 理念・基本方針は、玄関、保育室、事務室、休憩室等に掲示するとともに、全職員配布の「保育ガイド」に記載しています。職員会議でも折にふれ説明し、理解を深めるようにしています。• 保護者会はありませんが、運営委員会（保護者代表・第三者委員・園長・主任・運営法人本部職員で構成）に参加する保護者代表を公募で決め、重要事項を話し合い、結果は全職員・全保護者に報告しています。職員会議、クラス懇談会、保護者会でも話し合い、欠席者にも報告しています。• 主任はクラスを持たず、さまざまなクラスに入り、職員とコミュニケーションを取りながら、相談を受け、適宜アドバイスをして、職員が良好な状態で仕事に取り組めるように配慮しています。 |
|--|---|

VI-3 効率的な運営



- | | |
|--|--|
| <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 事業運営に影響のある情報は運営法人が収集して、各園に提供しています。運営法人の園長会でも検討し、園に持ち帰り職員会議で話し合い、計画検討の材料としています。• 運営法人は中長期的な事業の方向を明確にして「にじいろ保育園 中長期計画」を策定しています。 |
|--|--|

利用者（園児）家族アンケートの結果概要

●実施期間

2015年9月28日～10月13日

●実施方法

- ① 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
- ② 各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。

●回収率

66.7%（75枚配布、50枚回収）

※文中の「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です。

【結果の特徴】

- ・保育園の保育目標や保育方針については、「よく知っている」「まあ知っている」との回答が合わせて60%です。その中で97%の保護者が「賛同できる」（77%）「まあ賛同できる」（20%）と回答しています。
- ・全体の8割以上の項目に80%以上の満足度の高い結果が出ています。特に、高い満足度の項目は「園のおもちゃや教材について」「感染症の情報提供について」「園行事の日時の配慮について」「子どもが保育園生活を楽しんでいるかについて」が95%以上の満足度、「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気かについて」は100%の満足度という結果です。
- ・「おむつはずしの進め方について」の項目は74%の満足度ですが、無回答が12%あります。直接該当しない保護者の回答と思われる。
- ・不満が比較的高い項目は「外部からの不審者侵入防止について」が24%、「送迎時の情報交換について」が26%となっています。
- ・「保育園の総合的な評価」は、98%の満足度です。
- ・自由意見欄には、「子どもをよく見てもらっている」「先生方が穏やか」「毎日安心している」「一人一人の子どもの個性に合わせて対応してくれる」など多くの感謝の声があります。一方、「職員の退職や入れ替わりが多い」という不満意見が際立って多く寄せられています。保育者が突然変わる不安と保育園自体への心配の声です。「お泊まり保育」がなくなったことへの不満意見も数件あります。

【参考】

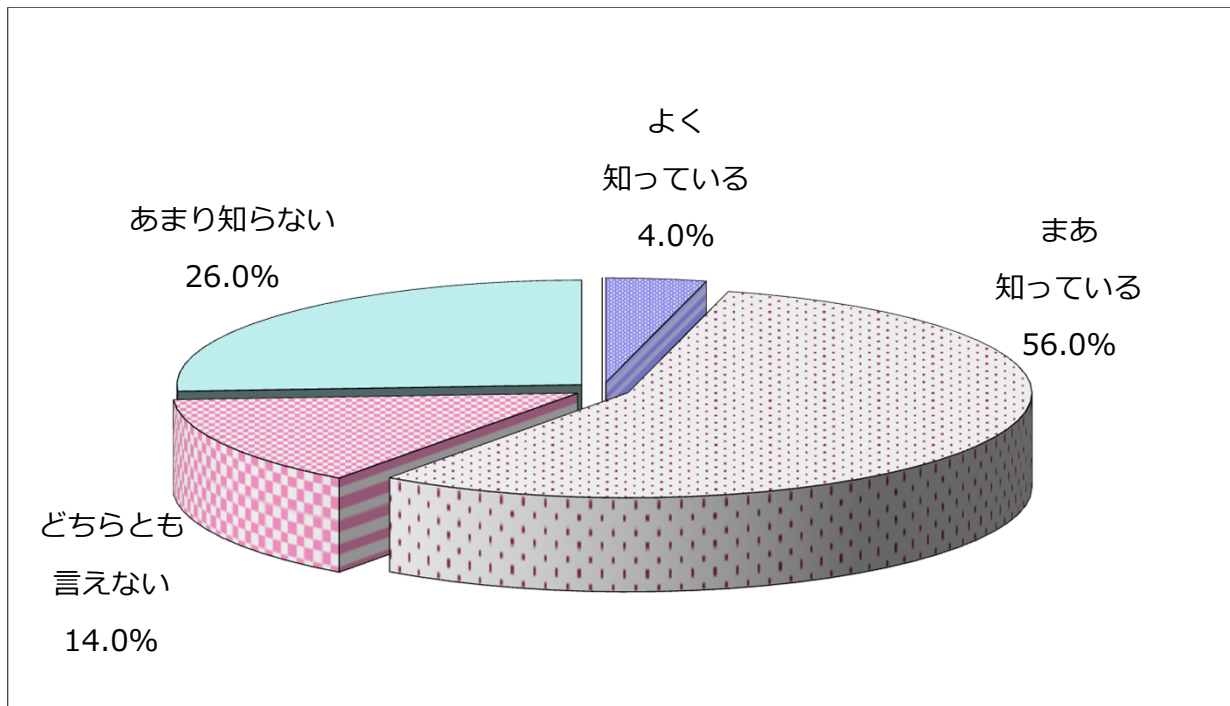
- ・「満足」割合が最も高い項目は、日常の保育内容「生活」の61.5%でした。「満足」と「どちらかという満足」を合わせた満足度では、職員の対応が95.8%であったのを最高に、各項目90%前後の数値になっており総じて高い満足度でした。
- ・相関分析のデータからは、問4の「遊びを通じて友だちや保育者との関わり」、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」、「基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組み」などの設問の結果が、保育園の総合的な評価に大きく影響を及ぼしていることが読み取れます。

利用者（園児）家族アンケート 集計結果・分析

回収率：66.7%（75枚配布、50枚回収）

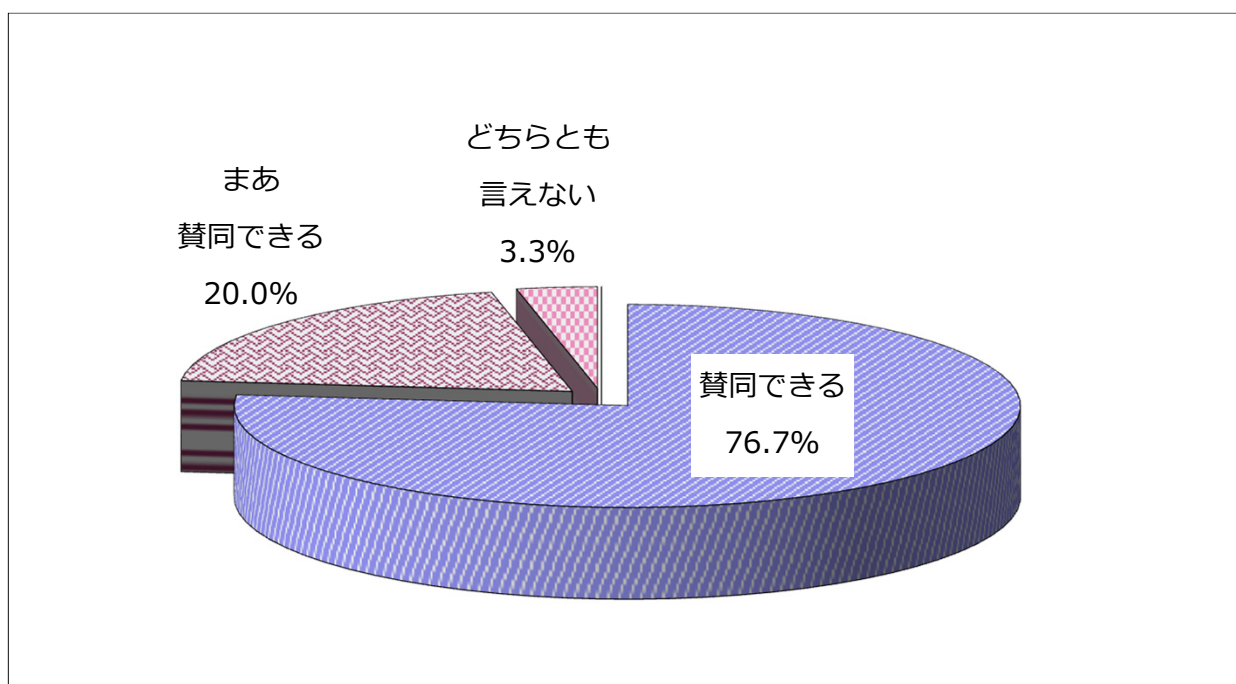
■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

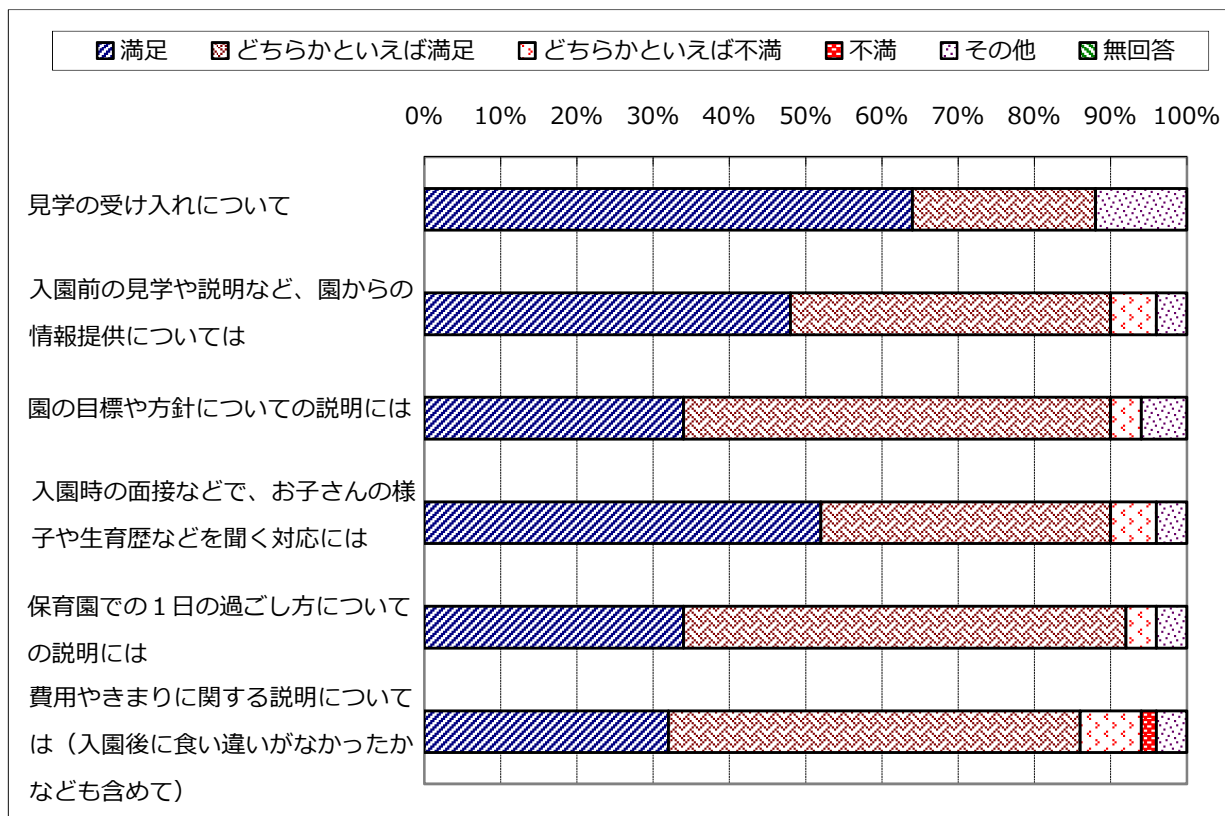


■ 保育園のサービス内容について

(%)

問2 入園時の状況について

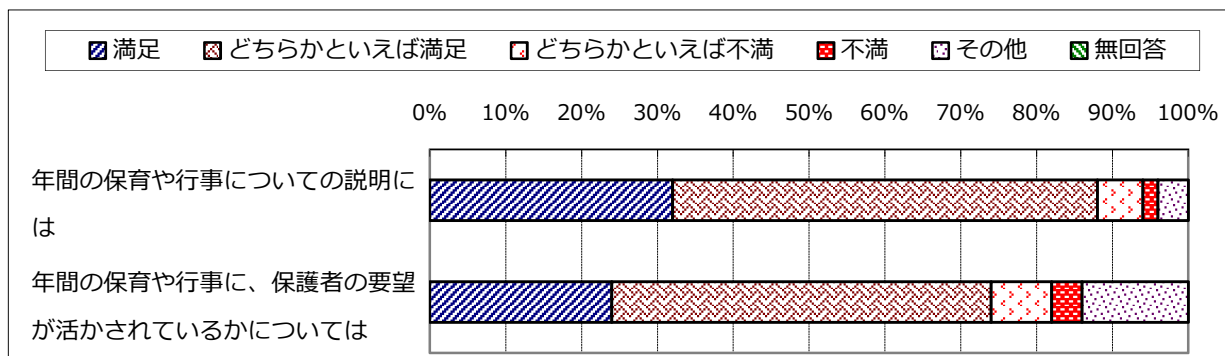
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについて	64.0	24.0	0.0	0.0	12.0	0.0
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	48.0	42.0	6.0	0.0	4.0	0.0
園の目標や方針についての説明には	34.0	56.0	4.0	0.0	6.0	0.0
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	52.0	38.0	6.0	0.0	4.0	0.0
保育園での1日の過ごし方についての説明には	34.0	58.0	4.0	0.0	4.0	0.0
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	32.0	54.0	8.0	2.0	4.0	0.0



(%)

問3 年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	32.0	56.0	6.0	2.0	4.0	0.0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	24.0	50.0	8.0	4.0	14.0	0.0

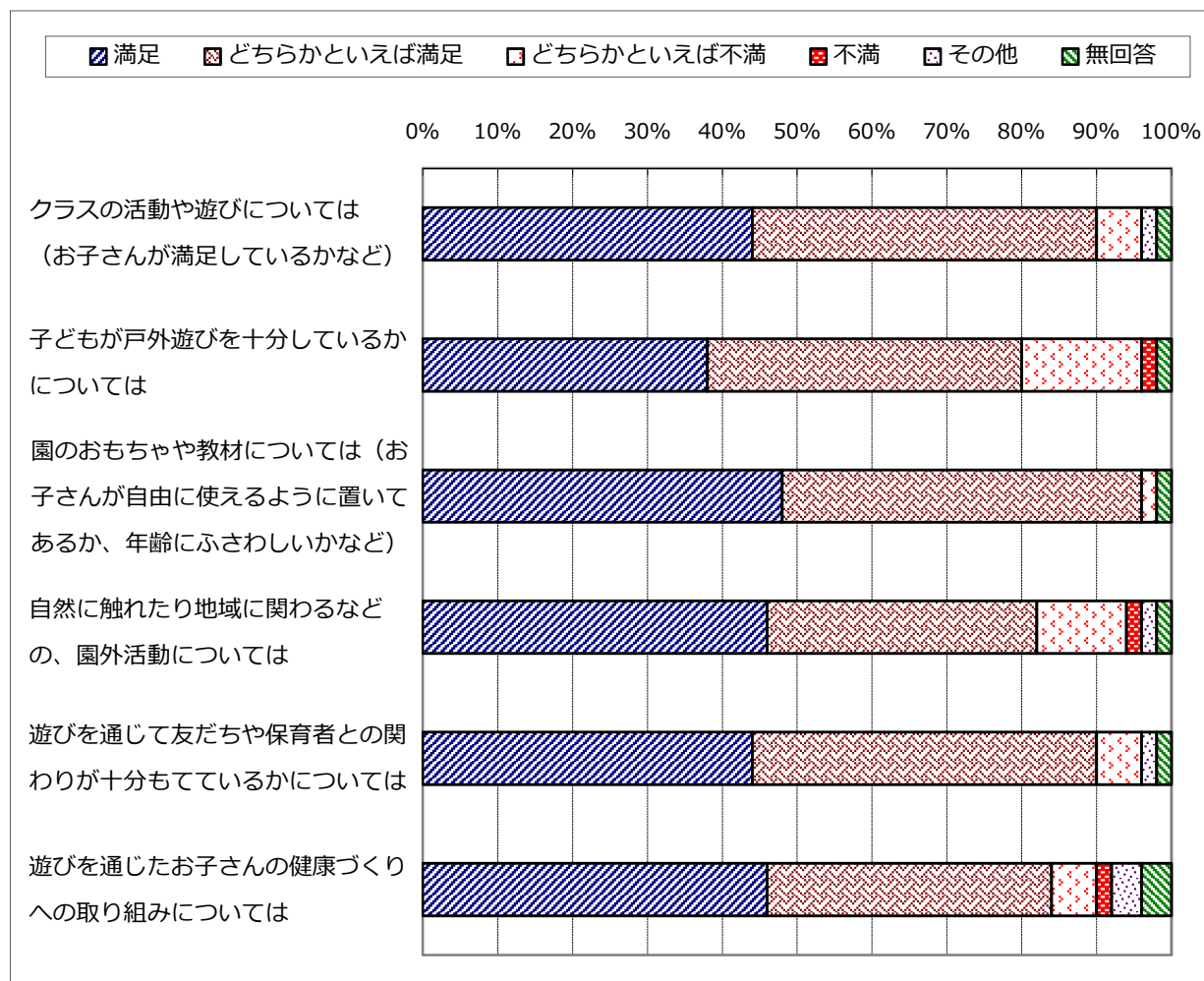


問4 日常の保育内容について

● 「遊び」について

(%)

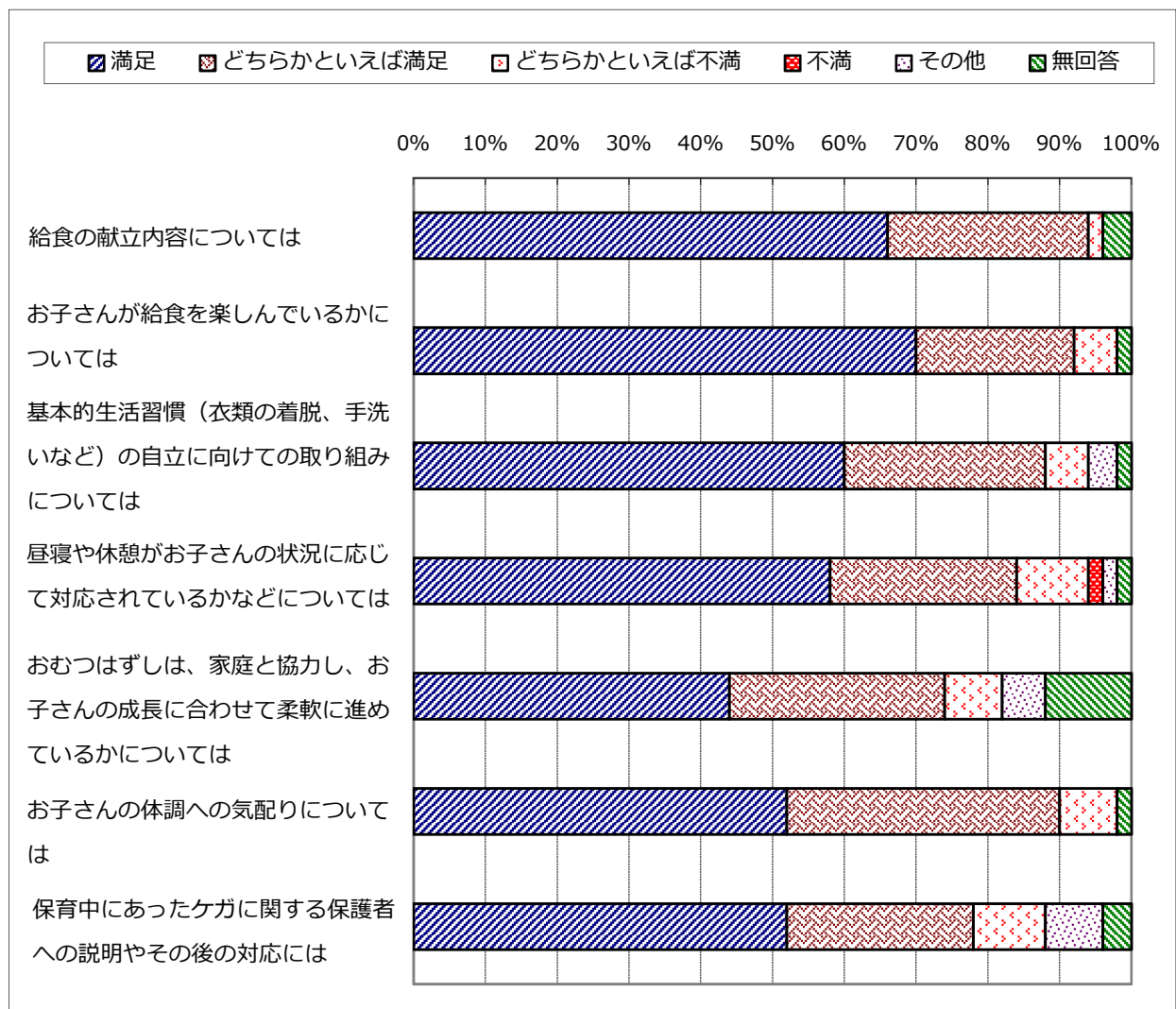
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	44.0	46.0	6.0	0.0	2.0	2.0
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	38.0	42.0	16.0	2.0	0.0	2.0
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	48.0	48.0	2.0	0.0	0.0	2.0
自然に触れたり地域に関わるなどの、 園外活動については	46.0	36.0	12.0	2.0	2.0	2.0
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	44.0	46.0	6.0	0.0	2.0	2.0
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	46.0	38.0	6.0	2.0	4.0	4.0



●「生活」について

(%)

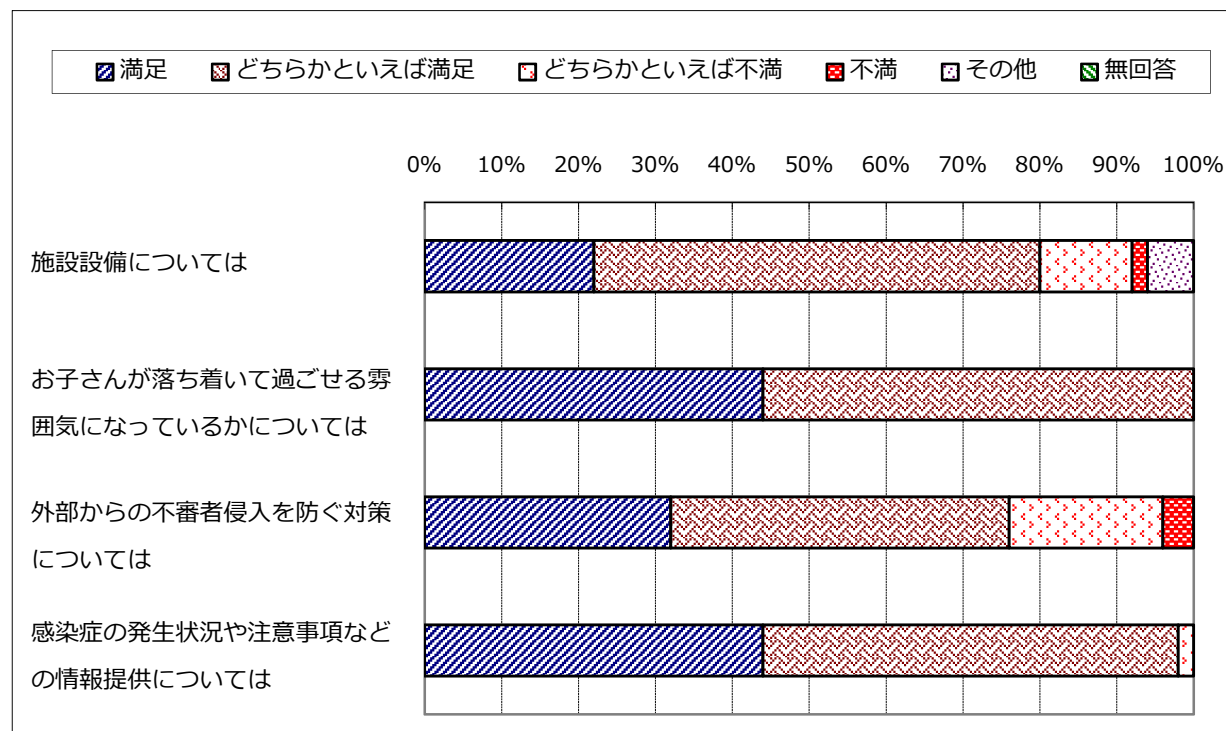
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	66.0	28.0	2.0	0.0	0.0	4.0
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	70.0	22.0	6.0	0.0	0.0	2.0
基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	60.0	28.0	6.0	0.0	4.0	2.0
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	58.0	26.0	10.0	2.0	2.0	2.0
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	44.0	30.0	8.0	0.0	6.0	12.0
お子さんの体調への気配りについては	52.0	38.0	8.0	0.0	0.0	2.0
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	52.0	26.0	10.0	0.0	8.0	4.0



問5 快適さや安全対策などについて

(%)

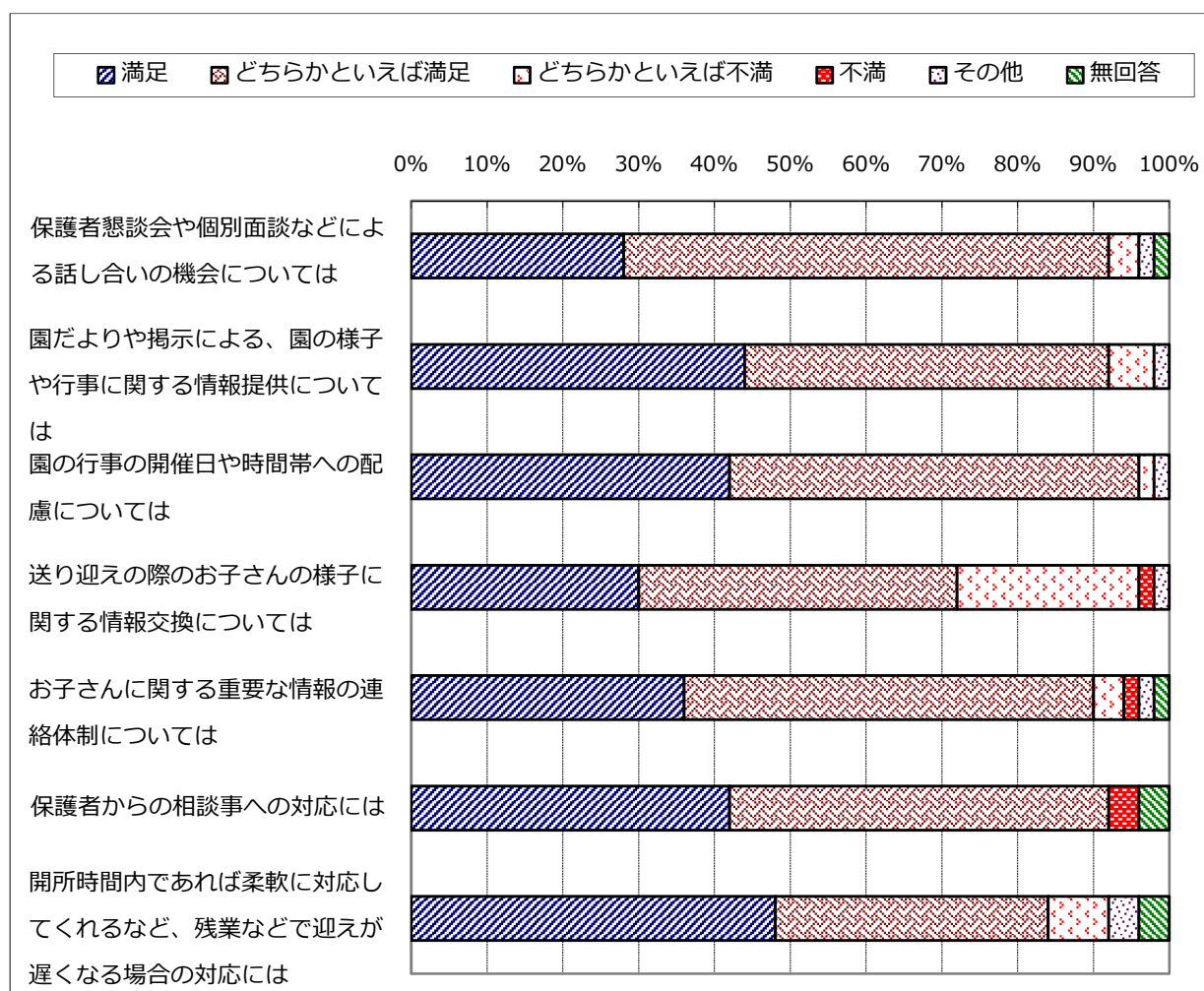
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	22.0	58.0	12.0	2.0	6.0	0.0
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	44.0	56.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	32.0	44.0	20.0	4.0	0.0	0.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	44.0	54.0	2.0	0.0	0.0	0.0



問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

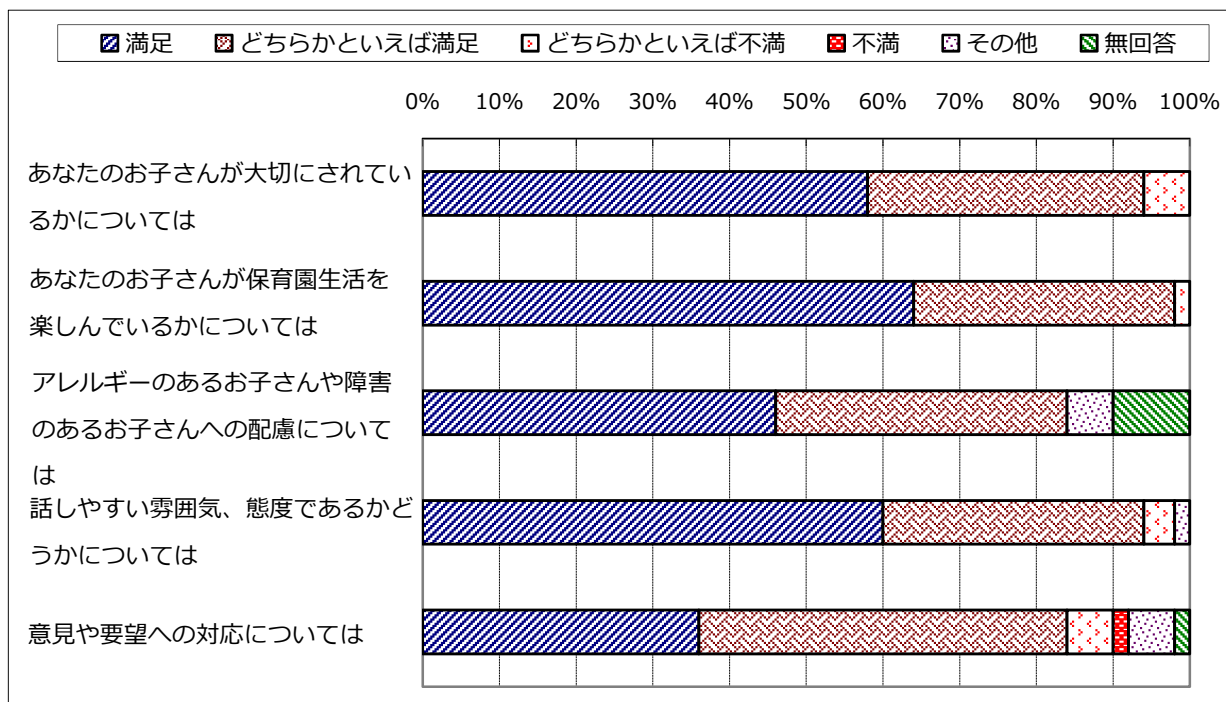
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	28.0	64.0	4.0	0.0	2.0	2.0
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	44.0	48.0	6.0	0.0	2.0	0.0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	42.0	54.0	2.0	0.0	2.0	0.0
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	30.0	42.0	24.0	2.0	2.0	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	36.0	54.0	4.0	2.0	2.0	2.0
保護者からの相談事への対応には	42.0	50.0	0.0	4.0	0.0	4.0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	48.0	36.0	8.0	0.0	4.0	4.0



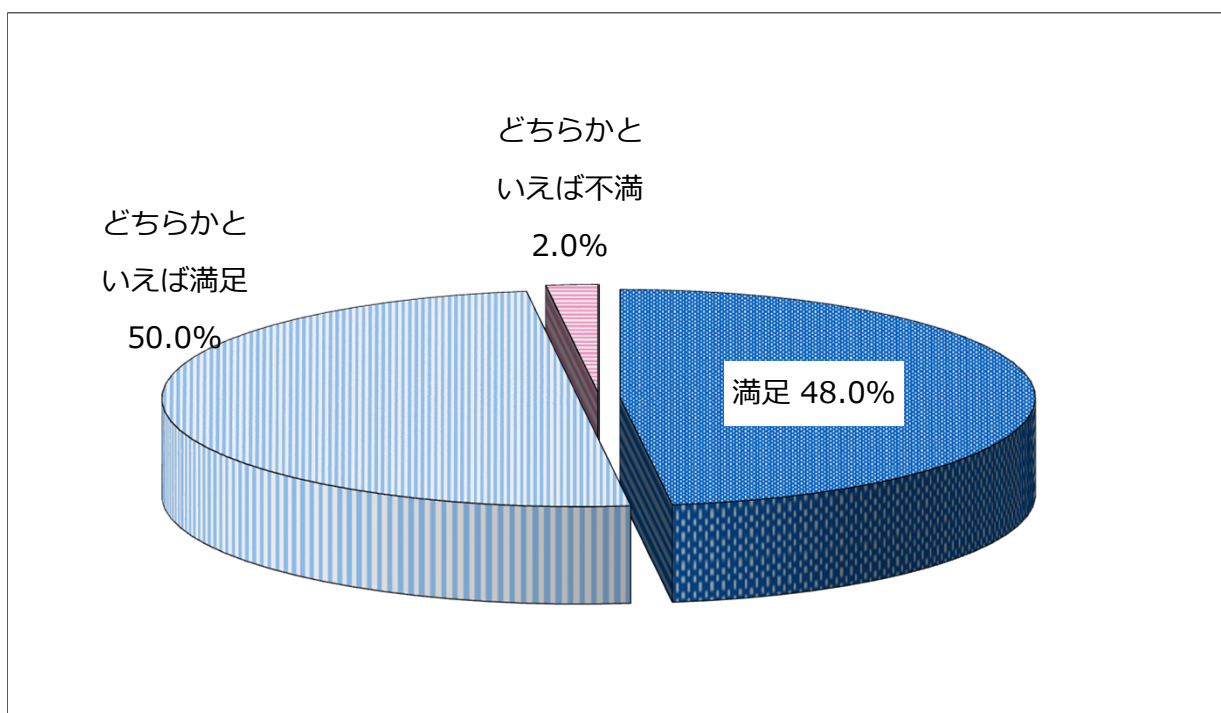
問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	58.0	36.0	6.0	0.0	0.0	0.0
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	64.0	34.0	2.0	0.0	0.0	0.0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	46.0	38.0	0.0	0.0	6.0	10.0
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	60.0	34.0	4.0	0.0	2.0	0.0
意見や要望への対応については	36.0	48.0	6.0	2.0	6.0	2.0



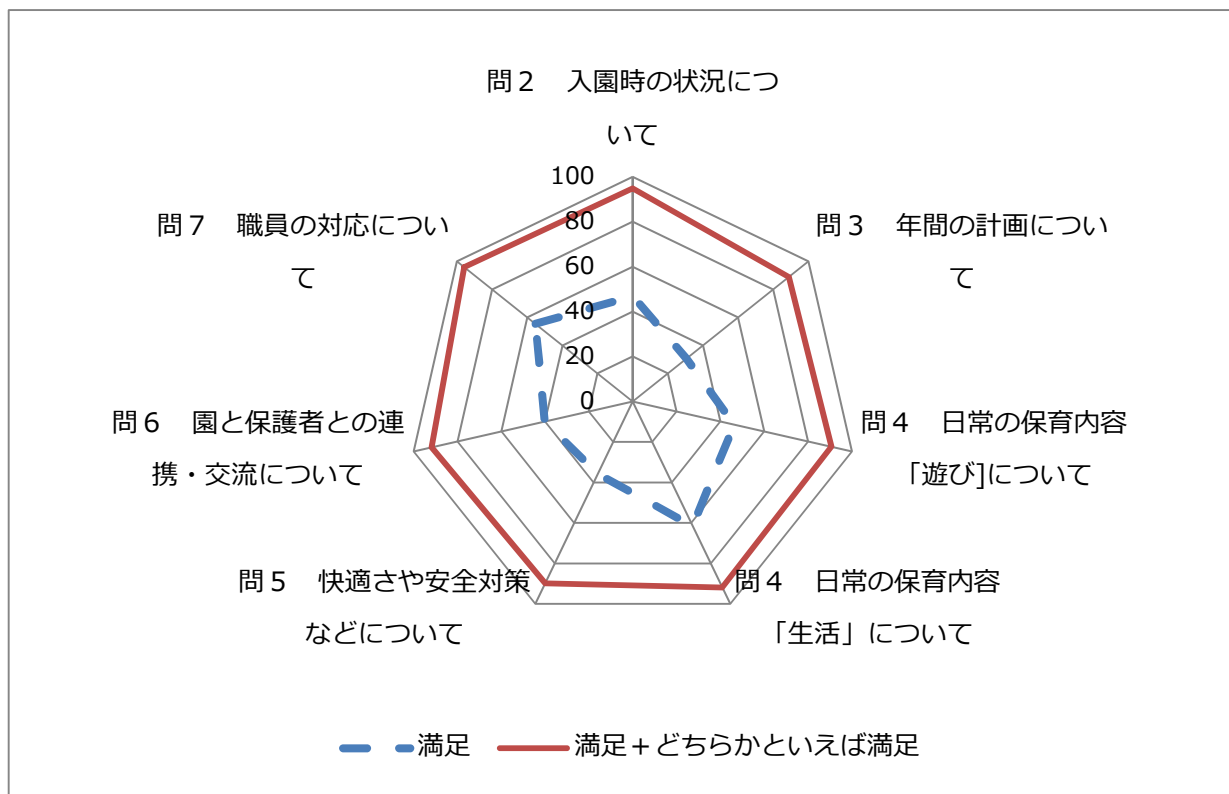
問8 保育園を総合的に評価すると



【参考資料1：中項目別平均満足度割合】

(%)

中項目	満足	満足+どちらかといえば満足
問2 入園時の状況について	47.0	94.8
問3 年間の計画について	30.6	88.9
問4 日常の保育内容「遊び」について	46.2	90.7
問4 日常の保育内容「生活」について	61.5	91.9
問5 快適さや安全対策などについて	35.9	89.8
問6 園と保護者との連携・交流について	40.2	91.7
問7 職員の対応について	55.4	95.8



※各中項目は、2～7つの小項目によって構成されており、各小項目の満足度割合から平均値を算出した。

※ここでの「満足度割合」は「その他」「無回答」を除外して計算してある。

【参考資料2：総合的な評価と相関が深い項目（相関分析）】

設問項目	相関係数
問4：遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	.658
問4：昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	.658
問4：基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	.650
問4：遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	.641
問4：お子さんの体調への気配りについては	.622

※データ分析上は、上記の項目で「満足」と答えた人は、問8「総合的な評価」においても「満足」と回答した率が高い。（逆に「不満」と答えた人は、問8においても「不満」と回答した率が高い）

※上記の項目の満足度を高めることが、総合的な満足度の向上にもつながる可能性が高い。

利用者（園児）本人調査の結果概要

実施日：11月25日（水）、11月27日（金）

実施方法：観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。

幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

●0歳児クラス（だいち組）

朝 8 時半になると、0～2 歳児が集まっていた部屋からだいち組に戻ります。このころ登園する子どももいますが、保育士は抱っこで受け取り保護者とあいさつを交わします。ニコニコと機嫌のよい子、泣いている子とさまざまですが、保育士はどの子どもにも笑顔で接しています。手をふいてもらってから、コーナーに設けた食事スペースで、クラッカーと牛乳の朝でおやつです。ペロリと食べてしまう子どもが多いです。保育士は「おやつ之歌」「給食之歌」「手遊び歌」とよく歌を歌います。子どもたちも体をゆずってリズムを取り、「おすわりトン」や名前を呼ばれたら手を挙げるなどの合図はよく分かっています。この日は 0～2 歳児が集まって、リトミックと来週のお楽しみ会の練習をしました。小さなお兄さんお姉さんの真似をして体を動かしている子どもも多いです。このころには誰も泣いている子どもはいません。

訪問 2 日目は駅のテラスに散歩に出かけました。靴を履かせてもらい出発です。玄関からの階段の壁際をゆっくり下りていきます。フリーの保育士も見守りの手伝いをしてくれます。階段下から立ち乗りバギーに乗る子、保育士と手をつなぐ子、おんぶの子とそれぞれですが、駅のテラスに着いて、ちょうど電車が来たのを見てみんな大喜びでした。子どもたちは電車が好きで朝も保育士手作りの牛乳パックの電車と遊んでいたのです。

●1 歳児クラス（そよかぜ組）

2 歳児クラスと合同で朝の会をしました。名前を呼ばれると「はい」とよい返事をします。この日は、0～2 歳児が集まってリトミックやお楽しみ会の練習をしましたが、歌やリズムに合わせて 2 歳児と同じような動きができる子どももいます。この後も 2 歳児クラスと一緒に絵本を読んでもらっていました。給食の前、3 人の保育士はブロックなどで子どもと遊んだり、おむつ替え、給食の準備と連携して保育をしています。おむつ替えのとき、トイレに座らせると、上手にできるときもあるようです。

訪問 2 日目はよい天気で、近くの品濃町公園に出かけました。靴下を履いたり帽子をかぶったり上着を着たりするのを手を貸してもらう子どももいますが、靴は自分で履けます。階段を歩く足取りもしっかりしています。公園で砂場遊びや鉄棒で楽しみ、帰って来ると自由遊びの時間です。今、そよかぜ組はブロックがブームのようで、みんなブロックで遊んでいます。一人で 1 つのものを作り、調査員に「キリン」「飛行機」等と見せてくれる子どももいますが、4 人くらいのグループで大きなビルのようなものを作っている子どもたちもいます。手分けして部分を作り、組み合わせて集団遊びができていました。ブロックが足りなくなったら保育士がもう 1 箱段ボール箱のブロックを持って来てくれましたが、給食前の「お片付け」では、みんなでさっと片付けました。

●2 歳児クラス（ふたば組）

給食の時間、担任の保育士は一人一人の子どもの苦手なものや、食べられる量を把握して、盛り付けを調整しています。保育士は子どもたちの食事のペースを尊重し、急かせることなく援助しています。子どもが最後に残ったご飯やおかずが食べにくそうになると「お手伝いしようか?」「あつまれしようね」と食べやすくまとめます。また、子どもの苦手な食材には「1 口でもいいから食べてみようか」と促し、少しでも食べることができると「OOちゃん、すごいね、よくがんばったね」と褒めて「食べられた」という子どもの自信につながるよう配慮しています。

0・1・2 歳児合同のリトミックの時間です。集まった 3 クラスの子どもたちは、保育士の「壁ペタンしましょう」の声に、2 歳児、1 歳児に分かれていつもの決まった場所に座ります。0 歳児はマットの上です。

「新しいお歌を覚えましょう」と保育士が前に立ち、ピアノに合わせて手振りをつけながら歌うと、それを見た子どもたちは同じ動きを真似て歌を覚えていきます。その後は2歳児・1歳児・0歳児の順に、リズムに乗って教室の端から端までしゃがんで歩いたり、寝ころんで転がりながら移動したり、ぴょんぴょんと跳ねたり、繰り返し体を動かしていきます。みんなの大好きな時間です。

●3歳児クラス（うみ組）

「先生おはようございます。みなさんおはようございます」とみんなで声を合わせて朝のあいさつです。「今日のお当番は〇〇ちゃんと〇〇ちゃんです。よろしくおねがいします」と当番を紹介し、日付のカードを使いながら「今日は何月？」「今日は何日？」「何曜日？」と質問が続きます。保育士の問いかけに対して子どもたちは大きな声で答えていきます。続いて1人1人の名前を読み上げ、呼ばれた子どもは「はい！」と元気よく手を挙げて返事をしています。保育士の「今日の予定は何ですか？」「準備することは何ですか？」の質問には、造形教室があること、準備は汚れてもよい服に着替えをして名札を付けることと、きちんと答えていました。

今日の造形教室はキノコの貼り絵です。講師は、これから作る見本を見せてから、製作に使う道具を一つずつ取り出して作り方を説明し実演して見せます。単色で描く子ども、多色使いが好きな子ども、顔を描く子どもなど作品には子どもたちの個性が顕著に表れています。出来上がった作品を見てほしい子どもから「みてみて」とあちらこちらで声がします。「できた人はお手々をキラキラして教えてください」と講師が声かけし、一人ずつの作品に「良くできたね」「かわいいね」などと話しながら作品を見ていきます。子どもたちはがんばって作った作品を褒められ、満ち足りた表情で笑顔を見せていました。

●4歳児クラス（そら組）

来週に控えた発表会で上演する劇の練習が始まります。演目は「ブレーメンの音楽隊」で、ロバ・犬・猫・ニワトリ・泥棒それぞれに数人ずつの配役です。障がいを持つ子どもは効果音の大太鼓の担当で、ピアノの横にスタンバイです。他の子どもたちは登場する順に座って待ち、保育士から全体の説明を聞きます。「大きな声でセリフを言う」「遠くまで行くお話だから元気よく歩く」「今日、一生懸命やると明日もっと上手になる」、こうしたいくつかの注意を聞いて、「みんなでがんばるぞ！エイエイオー！」の掛け声です。本番のように幕が開いたつもりから劇が進みます。子どもたちは、順番もセリフも歌もきちんと覚えています。保育士からは「自信を持って！」と優しい応援の声をかけてもらっています。

給食の時間、毎日栄養士が3～5歳児クラスと一緒に食事をしてくれます。今日は4歳児のテーブルです。給食の先生との食事を子どもたちはとても楽しみにしています。食事をしながら友達同士の楽しいおしゃべりが続きますが、あちこちから、「保育園のごはん好き」や「これおいしい」の音が混じっています。主菜・副菜・ごはん・汁、の献立に「全部のおかわり」という子どもたちもいるほどです。

●5歳児クラス（たいよう組）

朝の会では子どもたちが保育士からこれからの予定を聞いています。今日は月1回のクッキングの日で、クリスマスのクッキー作りです。手洗い・消毒・長い髪の毛を結ぶ・爪のチェックなどの注意もありました。身支度はエプロンと三角巾をつけます。エプロンのひもや三角巾を、見えない背中や頭の後ろで結ぶのは少し難しい様子で「先生やって」とお願いしている子どもや、友達に結んでもらっている子どももいます。できない子どもがいないかと背中側を見て回っている優しい友だちもいます。4歳児保育室との境を空けて大きな保育室にし、作業がしやすいようにテーブルが並べられました。今日は3・4・5歳クラス合同の活動です。次第に全クラスが集まり、クッキー作りが始まります。一人ずつに卵ほどの大きさのクッキー生地が配られ、この生地を程よい厚さに伸ばして型抜きで抜きます。厚すぎても薄すぎてもいけない理由を丁寧に教えてもらっています。自分の生地で4個のクッキーを作り、そのうちの2個は午後のおやつで食べる分、残りの2個は来月玄関ホールに置かれるクリスマスツリーのオーナメント分になります。ツリー用のクッキー2個だけにかわいいトッピングをするまでが今日の工程です。きれいな色の小さな星やハートでクッキーを飾っていると2個だけでなくみんなにのせたくなくなってしまいますが「2個のお約束」を守ることも学んでいます。

事業者コメント

第三者評価を終えて、振り返り立ち止まっているところです。保育園の日常を6つの領域から様々な視点で見直しました。まず、日々の保育を評価したり見直すにはどのようにしたらよいのか、というやり方や組織作りを話し合うところから始めました。そして役割を決めかなりの時間をかけ意見をまとめ、共通の理解も確認もしました。これだけでも普段を見直す良い機会になりました。

その中から見えてきた事がいくつかあります。保育園の役割として足りない目に見える部分は、すぐにでも取り掛かりたいと思いました。また、保育園を見直し一人ひとりが意識を高く持ち連携をし、お互いに啓発し合い経験を重ねる事が、園としてのゆるぎない幹になっていくことだと改めて思います。一歩ずつではありますが、子どもたちにとって伸びやかで豊かな生活を送ることが出来る温かな環境や場所作りを職員全員で目指していきたいと思います。

今回は保護者の方々のご意見やお気持ちもアンケートの協力で知ることが出来ました。大変励まされました。ありがとうございました。また評価を担当していただきました評価員の皆さまも的確にご指導いただいた事に感謝いたします。

これからもにじいろ保育園川上町の成長を見守りください。

園長 小澤みずゑ



-評価で次のステージへ-
since 2012

合同会社 評価市民・ネクスト

〒231-0003 横浜市中区北仲通 3-33 関内フューチャーセンター153

Tel: 050-3786-7048 Fax: 045-330-6048

URL: <http://www.hyouka-next.jp>